

新入会員の皆様へ

一般社団法人 全日本建設技術協会 会長

おおいし ひさかず
大石 久和



新入会員の皆様、全日本建設技術協会（以下、全建）へご加入いただき、ありがとうございます。全建は全国の建設系公務員を主体とする約6万人の会員からなる団体で、会員の技術力向上・社会的地位の向上・連携交流の促進を目的に事業を進めています。今、皆様が手にしている月刊「建設」の発行、様々な建設系の行政課題をテーマに取り上げた「建設技術講習会」の開催、特色ある現場を見学する「実地研修会」の開催、技術図書の割引購入など、会員の技術力向上につながる事業などを実施しています。さらに地方協会が取り組む講習会や研修会、また会員相互の親睦・交流を深める様々な活動への助成も行っています。

建設分野での技術環境が大きく様変わりしようとしています。デジタル、ICT、DXなどという用語が飛び交い、無人化、非文書化、自動化、三次元化などが現場の常識であるという時代がやってきました。人材不足がインフラ整備の足かせと言われてきましたが、強力な省力化ツールが建設の世界に急速に広がってきました。

これは、施工者、測量・コンサルタントなどの世界にとどまる話ではありません。われわれ発注側技術者自身が、こうした技術変化の時代の流れを先導していかなければならないのです。

このような状況のもとで、会員一人一人が技術力を向上させ、高い職務遂行能力や課題解決能力を習得するためには、日常業務の中で様々な知恵を絞り、工夫を重ねるとともに、その努力や苦労を一人だけのものとせず、共通の経験とすることが重要です。このため、全建では、会員が獲得した情報を会員同士の連携・交流によって世代・地域・機関を超えて伝承し、広く国民にも発信していこうとしています。

公務員技術者とは何かという範疇だけで物事を考えてしまうことがあります。まずは人として深くなることで、広がりが深い、幅広い人間になることが大切です。社会に何かあるとき、自分には関係ないこととしてしまうのは一番正しくない態度です。すべての出来事、世の中の動いている森羅万象は何らかのかたちで私たちに関係があるのです。私は土木技術者なのだからそれは知らなくていいという感覚を最初から入れるなということなのです。われわれ公務員技術者はまず仕事を企画する側です。忙しすぎて若い人たちはあまり現場を経験できないという話をよく聞きますが、できるだけ多くの住民の方々などに接して現場感覚を身につけ、地域の暮らしがより安全に、より快適になるよう考えて行きましょう。そして、社会のために役立つ存在として地域から信頼され、愛されるように努力して参りましょう。